

公開研究会

こどもの環境づくり

—その意義と実践—

こどものための保育施設を取り巻く状況は変化している。とりわけ、幼稚園・保育所・準認可保育所の従来の区切りを変え、保護者の就労状況等によらず子どもたちがそれぞれのニーズに合った保育を受けることができるよう制度を改革する、いわゆる“幼保の一元化”の本格実施が2015年4月に迫っている。

そうしたなかにあつて、子どもたちの成長・発達を助ける保育施設やその環境のあり方の本質に立ち返り、「何を目指して」「どのように」環境をつくっていくかを改めて議論し、保育環境に関わる多様な主体で共有することが求められる。こうした視座に立ち、当小委員会では様々な事例の視察や現場での議論を重ね、今夏その成果を発信すべく『こどもの環境づくり事典』を編纂した。

本公開研究会では、この本の出版記念も兼ねて、保育・幼児教育の現場の方、設計者、保育環境の研究者（保育、建築）のそれぞれの立場から、保育施設における環境づくりの意義と実践への考えを語り、相互理解の上に立つ環境の向上に資する議論を行う。

主催：建築計画委員会 施設計画運営委員会 福祉施設小委員会
(協力：こども環境学会)

日時：2015年2月14日(土) 14:00～16:30

- * 同日午前中に希望者を対象とした事例見学会(「みどりの保育園/東京都多摩市」および「新宿せいが保育園/東京都新宿区」)を実施します。いずれか一方をお選びになり、シンポジウム申込時にご希望をお知らせください。
- * 「まちの保育園 六本木/東京都港区」の見学希望は既に定員に達しました。ご了承ください。
- * お申し込み受付の返信にて詳細をご案内します。定員は各10名程度です。先着順とさせていただきますのでお早めにお申し込みください。

会場：東京大学本郷キャンパス工学部1号館15号教室

<プログラム(予定)>

主旨説明：藤田大輔(岐阜工業高等専門学校)「今日のこども施設をめぐって」

主題解説

1. 設計者の立場から 井上 寿(環境デザイン研究所)
2. 保育の現場から 鈴木 真廣(社会福祉法人わこう村 和光保育園)
3. 保育研究者の立場から 高山 静子(東洋大学)
4. こどもの環境づくりのために ～設計・保育研究・保育現場をつなぐ
佐藤 将之(早稲田大学)

ディスカッション

まとめ：橘 弘志(実践女子大学)

司会：山田あすか(WG主査：東京電機大学)

参加費：会員1,500円、一般2,000円、学生500円(資料代含む/当日会場払い)

定員：70名(申込み先着順)

申込方法：催し物名称、氏名・勤務先・所属・同住所・同電話番号・参加種別(建築学会員、一般、学生)・見学会参加希望の有無・見学希望先を明記し、下記までお申し込みください。

見学会のご案内は、お申し込みいただきましたE-mailアドレスにお送りいたします。

申込問合せ：福祉施設小委員会 こども施設環境情報収集ワーキンググループ

E-mail: kodomonokankyo@gmail.com